

## プログラム

大会長講演

7月5日(土) 9:40～10:10 第1会場

### 情報氾濫社会に立ち向かう医薬品情報リテラシー ～正しい情報、求められる情報～

座長：真野 泰成（東京理科大学 薬学部）

演者：松尾 裕彰（広島大学病院 薬剤部）

特別講演①

7月5日(土) 10:10～11:10 第1会場

### ゲノム編集技術の開発と医学・医療への応用

座長：松尾 裕彰（広島大学病院 薬剤部）

演者：山本 卓（広島大学大学院統合生命科学研究科、広島大学ゲノム編集イノベーションセンター）

特別講演②

7月5日(土) 13:15～14:05 第1会場

### 医薬品情報学の温故知新

座長：大谷 壽一（慶應義塾大学医学部）

演者：林 昌洋（国家公務員共済組合連合会虎の門病院 薬剤部・治験臨床研究部）

教育講演

7月5日(土) 14:15～15:05 第1会場

### 臨床疫学研究のすすめ

座長：堀 里子（慶應義塾大学薬学部）

演者：福間 真悟（広島大学大学院医系科学研究科 疫学・疾病制御学）

アップデートセミナー①

7月6日(日) 9:15～10:05 第5会場

### 生成 AI の期待と留意点 ～仕組みから活用法まで

座長：荒 義昭（国立病院機構災害医療センター）

演者：佐藤 弘康（JA 北海道厚生連 網走厚生病院 薬剤科）

アップデートセミナー②

7月6日(日) 10:15～11:05 第5会場

### 妊婦授乳婦に対する医薬品情報の収集・評価と薬剤師の役割

座長：酒井 隆全（名城大学 薬学部 医薬品情報学研究室）

演者：三木 陽介（広島大学病院 薬剤部）

アップデートセミナー③

7月6日(日) 13:45～14:35 第5会場

### 医療現場で必要とされる情報を発信すること～医薬品供給不安下でのDSJP運営を通じて

座長：吉川 博（広島大学病院 薬剤部）

演者：山本 高大（一般社団法人 asTas）

アップデートセミナー④

7月6日(日) 14:45～15:15 第5会場

### 情報氾濫社会における製薬企業からの情報提供

座長：有馬 秀樹（山口大学医学部附属病院）

演者：森田 健司（中外製薬 メディカルインフォメーション部）

## ■シンポジウム

## シンポジウム①

7月5日(土) 9:45～11:45 第2会場

**研究の立案・申請・実施・報告まで：研究企画委員会が支援します！**

座長：堀 里子（慶應義塾大学薬学部）

横山 威一郎（千葉大学医学部附属病院 薬剤部）

オーガナイザー：

小原 拓（東北大学病院薬剤部、東北大学東北メディカル・メガバンク機構）

堀 里子（慶應義塾大学薬学部）

- S1-1 課題研究班実施時の経験紹介 1 ～大学院生 / 大学教員として携わった立場から  
木崎 速人（慶應義塾大学薬学部）
- S1-2 課題研究班実施時の経験紹介 2 ～社会人大学院生として携わった立場から  
酒井 隆全（名城大学 薬学部 医薬品情報学研究室）
- S1-3 課題研究班実施時の経験紹介 3 ～市中病院の薬剤師として携わった立場から  
鈴木 信也（東京薬科大学 薬学部 薬学実務実習教育センター）
- S1-4 薬局・病院薬剤師による研究への支援の実際  
小原 拓（東北大学病院薬剤部、東北大学東北メディカル・メガバンク機構）
- S1-5 医薬品情報学研究の近年の動向  
永田 健一郎（九州大学病院薬剤部）

## シンポジウム②

7月5日(土) 9:45～11:45 第3会場

**中小病院における未来の医薬品情報業務について ～中小病院で求められる DI 業務～**

座長：山中 理（市立大津市民病院 医薬品情報管理室・医療情報システム室）

小川 充恵（八尾市立病院）

オーガナイザー：

大庭 理寛（JA 神奈川県厚生連 伊勢原協同病院 薬局）

小川 充恵（八尾市立病院）

- S2-1 中規模大学病院における DI 業務～臨床薬剤師との協働と医薬品情報リテラシーの向上～  
上森 恵里（日本医科大学武蔵小杉病院薬剤部）
- S2-2 未来の医薬品情報業務について ～療養型病院で求められる DI 業務～  
小池 健太（帝京大学ちば総合医療センター）
- S2-3 未来に向けた中規模病院における卒後5年間の DI 教育計画  
武田 千春（医療法人社団武蔵野会 TMG あさか医療センター）
- S2-4 中小病院で未来に存続可能な DI 室運営とは～副作用報告・適応外使用の管理の視点から～  
西 美帆（山口県済生会山口総合病院）
- S2-5 中小病院で求められる未来の DI 業務について  
大庭 理寛（JA 神奈川県厚生連 伊勢原協同病院 薬局）

シンポジウム③

7月5日(土) 9:45～11:45 第5会場

今改めて医薬品情報業務を考える

座長：大野 能之（東京大学医学部附属病院薬剤部）

永野 靖典（三楽病院 薬剤科）

オーガナイザー：

安島 秀友（横浜市立大学附属病院 薬剤部）

永野 靖典（三楽病院 薬剤科）

S3-1 医療現場を支える医薬品情報業務 ～情報収集、評価、伝達から中毒情報対応まで～

枅倉 尚広（日本大学医学部附属板橋病院薬剤部）

S3-2 総合病院における安全性情報の収集・管理とその実践

岡田 拓朗（医療法人鉄蕉会亀田総合病院薬剤部）

S3-3 医療現場における医薬品情報教育 ～職種に合わせた教育方法を考える～

安島 秀友（横浜市立大学附属病院 薬剤部）

S3-4 今こそ挑戦 ～DI関連の研究と地域におけるDI連携～

金井 紀仁（医療法人社団武蔵野会 新座病院 薬剤科）

シンポジウム④

7月5日(土) 13:15～15:15 第2会場

情報氾濫社会における医薬品情報業務の新たな潮流 ～進め方 2018 から未来へ  
課題解決の最前線～

座長：大幸 淳（済生会横浜市東部病院 薬剤部）

中田 英夫（慶應義塾大学病院）

オーガナイザー：

大幸 淳（済生会横浜市東部病院 薬剤部）

中田 英夫（慶應義塾大学病院）

S4-1 日本病院薬剤師会「医薬品情報業務の進め方2018」の目的と作成の経緯

望月 眞弓（慶應義塾大学名誉教授、元日本病院薬剤師会医薬情報委員会委員長）

S4-2 薬学生の臨床実践能力向上を目指したDI教育の取り組みと今後の課題

田坂 祐一（就実大学 薬学部）

S4-3 臨床における医薬品情報業務の現状とこれから

川名 真理子（医療法人鉄蕉会亀田総合病院 薬剤部）

S4-4 DI業務における課題解決に向けて

永田 健一郎（九州大学病院薬剤部）

シンポジウム⑤

7月5日(土) 13:15 ~ 15:15 第3会場

**RMPに伴うリスク最小化資材の活用法を探る～保険薬局・製薬企業の視点から～**

座長：下平 秀夫（帝京大学薬学部）

若林 進（杏林大学医学部附属病院）

オーガナイザー：

若林 進（杏林大学医学部附属病院）

石田 和彦（日本製薬工業協会医薬品評価委員会ファーマコビジランス部会（アステラス製薬））

S5-1 RMPに伴うリスク最小化資材の活用法を探る

若林 進（杏林大学医学部附属病院 薬剤部）

S5-2 RMP/RMP 資材利活用促進のための製薬業界の取り組み

石田 和彦（日本製薬工業協会医薬品評価委員会ファーマコビジランス部会（アステラス製薬））

S5-3 RMP 資材の実効性に関する課題と取り組み

円谷 尊彦（中外製薬株式会社）

S5-4 保険薬局における RMP 活用と課題

山田 真弘（株式会社ファーマシィ ファーマシィ薬局病院前）

S5-5 なの花薬局での RMP の活用と課題

鈴木 すみれ（株式会社なの花東北 事業部）

シンポジウム⑥

7月5日(土) 13:15 ~ 15:15 第5会場

**報告ガイドラインから有害事象自発報告データベースの研究利用の勘所を押さえる**

座長：野口 義紘（岐阜薬科大学 病院薬学研究室）

酒井 隆全（名城大学 薬学部 医薬品情報学研究室）

オーガナイザー：

酒井 隆全（名城大学 薬学部 医薬品情報学研究室）

土屋 雅美（慶應義塾大学薬学部 医薬品情報学講座）

S6-1 READUS-PV 報告ガイドラインの概要と日本語翻訳プロジェクトの紹介

土屋 雅美（慶應義塾大学薬学部 医薬品情報学講座）

S6-2 報告ガイドラインと既存の文献・資料との補完的な利用を考える

酒井 隆全（名城大学 薬学部 医薬品情報学研究室）

S6-3 実例から学ぶ有害事象自発報告データベースの研究への活用術

岡田 直人（山口大学医学部附属病院 薬剤部）

S6-4 報告ガイドラインに含まれていない留意点について

野口 義紘（岐阜薬科大学 病院薬学研究室）

シンポジウム⑦

7月5日(土) 15:30 ~ 17:30 第1会場

**真に臨床応用可能なリアルワールドエビデンス創出に向けた研究リテラシー**

座長：村木 優一（京都薬科大学 臨床薬剤疫学分野）  
岡田 直人（山口大学医学部附属病院 薬剤部）

オーガナイザー：

村木 優一（京都薬科大学 臨床薬剤疫学分野）  
岡田 直人（山口大学医学部附属病院 薬剤部）

S7-1 RWD リテラシー入門 ~商用データベース獲得戦略も含めて~

今井 俊吾（慶應義塾大学）

S7-2 研究デザインによるバイアス制御の方法と解釈に関するリテラシー

岡田 直人（山口大学医学部附属病院 薬剤部）

S7-3 リアルワールドデータ研究に求められる曝露・アウトカムリテラシー - 正しい定義と活用

八木 達也（浜松医科大学医学部附属病院薬剤部）

S7-4 RWD の限界に立ち向かう研究リテラシー

冢瀬 諒（京都薬科大学臨床薬剤疫学分野）

シンポジウム⑧

7月5日(土) 15:30 ~ 17:30 第2会場

**患者の治療に貢献するためのデジタルツールを議論する**

座長：内倉 健（昭和大学）  
大庭 理寛（JA 神奈川県厚生連 伊勢原協同病院 薬局）

オーガナイザー：

内倉 健（昭和大学）  
大庭 理寛（JA 神奈川県厚生連 伊勢原協同病院 薬局）

S8-1 医薬品情報室の業務を支えるプラットフォーム~ SAFE-DI の実践的な活用を中心に~

大幸 淳（済生会横浜市東部病院 薬剤部）

S8-2 Dr.JOY による医薬品情報を通じた患者治療への貢献を考える

高麗 貴史（前橋赤十字病院）

S8-3 AI-PHARMA を用いた医薬品情報の管理と活用

市橋 孟（NTT 東日本関東病院）

S8-4 病棟薬剤師からみたデジタルツールの利活用と医薬情報室との連携

坂井 千夏（東京医科大学病院 薬剤部）

S8-5 保険薬局で利用可能な臨床ツールとは ~保険薬局 DI 室の挑戦~

菅 裕亮(株)なの花北海道 なの花薬局若草店 / (株)メディカルシステムネットワーク 薬局事業本部 学術部)

## シンポジウム⑨

7月5日(土) 15:30～17:30 第3会場

**腎機能を低下させないために薬剤師ができること**

- 座長：中村 敏明（大阪医科薬科大学薬学部）  
 吉村 元宏（株式会社ホロン すずらん薬局グループ）  
 オーガナイザー：  
 中村 敏明（大阪医科薬科大学薬学部）  
 吉村 元宏（株式会社ホロン すずらん薬局グループ）

## S9-1 「腎」を守るための医薬品情報の活用について

菅原 鉄矢（クラフト株式会社 さくら薬局豊郷台店）

## S9-2 保険薬局における教育活動と研究活動の成果と今後の課題について

桜田 尚季（株式会社なの花北海道 なの花薬局美しが丘店）

## S9-3 在宅医療における多職種間の情報共有について

穴田 わかな（株式会社ナカジマ薬局）

## S9-4 すずらん薬局グループの薬歴データを用いた Triple Whammy 防止対策とその成果

吉村 元宏（株式会社ホロン すずらん薬局グループ）

## シンポジウム⑩

7月5日(土) 15:30～17:30 第5会場

**ステップアップ！DXで変わる医薬品情報提供の未来**

- 座長：太田 美紀（独立行政法人医薬品医療機器総合機構）  
 荒 義昭（独立行政法人国立病院機構災害医療センター）  
 オーガナイザー：  
 太田 美紀（独立行政法人医薬品医療機器総合機構）  
 竹本 信也（日本製薬工業協会）

## S10-1 PMDAが発信する医薬品情報とその活用への期待

岡本 麻依（独）医薬品医療機器総合機構）

## S10-2 製薬業界より～「いかに活用してほしい？」各種資材に込めた思い～

佐藤 めぐみ（日薬連安全性委員会 医薬品情報提供システム検討プロジェクト）

## S10-3 医療機関における医薬品情報活用の展望

若林 進（杏林大学医学部附属病院 薬剤部）

## S10-4 電子カルテからの医薬品情報の提供とその実態

井上 拓也（富士通株式会社 HealthyLiving 事業部）

## S10-5 病院における医薬品情報活用の実際

中田 英夫（慶應義塾大学病院）

シンポジウム⑪

7月6日(日) 9:15～11:15 第1会場

**病院経営に貢献する DI 室力を考える**

- 座長：猪川 和朗（広島大学病院）  
有馬 秀樹（山口大学医学部附属病院）  
オーガナイザー：  
猪川 和朗（広島大学病院）  
有馬 秀樹（山口大学医学部附属病院）

- S11-1 止まる薬、止めない経営：DI 室の戦略と現場対応力  
吉川 博（広島大学病院 薬剤部）
- S11-2 フォーミュラリの運用による病院経営への貢献  
森木 邦明（鳥取大学医学部附属病院）
- S11-3 高額医薬品の在庫・流通管理への対応による病院経営への貢献  
榎田 崇志（岡山大学病院）
- S11-4 診療報酬加算を見据えた後発品・後続品の使用促進による病院経営への貢献  
後藤 貴樹（島根大学医学部附属病院薬剤部）

シンポジウム⑫

7月6日(日) 9:15～11:15 第2会場

**災害時の医薬品・医療情報～平時と有事の違い～**

- 座長：板井 進悟（金沢大学附属病院 医療安全管理部）  
荒川 隆之（医療法人長久堂野村病院）  
オーガナイザー：  
板井 進悟（金沢大学附属病院）

- S12-1 知ってほしい災害時における医療関連情報の現況と扱い方  
高山 和郎（東京大学医学部附属病院）
- S12-2 令和6年能登半島地震を経験して（現在までの歩み）  
仙崎 好彦（町立富来病院）
- S12-3 災害医療における急性期での医薬品に関する医療情報管理の重要性～災害初期に考えること～  
竹内 正幸（愛知医科大学病院）
- S12-4 災害を見据えた医療 DX・地域医療連携の推進  
川上 貴裕（金沢大学附属病院）
- S12-5 被災地での医薬品情報の利活用～2011年から2023年への進化  
五十嵐 敏明（東北大学病院 薬剤部）

## シンポジウム⑬

7月6日(日) 9:15 ~ 11:15 第3会場

**基礎薬学を活用した医師へのアカデミック・ディテールリングが薬剤師の未来を変える**

座長：小茂田 昌代（千葉西総合病院薬剤部）

菅 裕亮（株）なの花北海道 なの花薬局若草店 / （株）メディカルシステムネットワーク 薬局事業本部 学術部）

オーガナイザー：

小茂田 昌代（千葉西総合病院薬剤部）

## S13-1 医師へのアカデミック・ディテールリングが薬剤師の未来を変える

小茂田 昌代（千葉西総合病院薬剤部）

## S13-2 アカデミック・ディテールリングで医師が薬剤師に期待すること

平川 聡史（聖隷浜松病院）

## S13-3 薬物動態の基礎とアカデミック・ディテールリングへの活用

西川 元也（東京理科大学薬学部）

## S13-4 保険薬局薬剤師におけるアカデミック・ディテールリングの実践的活用に向けて

菅 裕亮（株）なの花北海道 なの花薬局若草店 / （株）メディカルシステムネットワーク 薬局事業本部 学術部）

## S13-5 医師への帯状疱疹治療アカデミック・ディテールリングによる患者リスク低減プログラム

杉山 奈津子（国際医療福祉大学薬学部）

## シンポジウム⑭

7月6日(日) 13:45 ~ 15:45 第1会場

**アレルギーチェックを巡る諸問題について今一度考える**

座長：横山 威一郎（千葉大学医学部附属病院 薬剤部）

宮村 信輝（名古屋大学医学部附属病院メディカル IT センター）

オーガナイザー：

高田 敦史（九州大学病院）

横山 威一郎（千葉大学医学部附属病院 薬剤部）

## S14-1 患者安全の視点から患者のアレルギー情報の取り扱いについて望むこと

梅村 朋（名古屋大学医学部附属病院 患者安全推進部）

## S14-2 電子カルテ情報共有サービスを見据えた薬剤アレルギー等情報の取り扱いを考える

橋詰 淳哉（長崎大学病院）

## S14-3 医薬品アレルギー情報の標準化に向けた現状と課題

吉田 直樹（大阪大学医学部附属病院）

## S14-4 バンダーの立場からアレルギーチェック問題を考える

木村 潤（JAHIS）

## S14-5 薬効分類コードの再考と医薬品アレルギーチェックの最適化に向けて

鈴木 信也（東京薬科大学 薬学部 薬学実務実習教育センター）

シンポジウム⑮

7月6日(日) 13:45 ~ 15:45 第2会場

**患者さんが必要とする医薬品情報を届けるために**

座長：後藤 伸之（福井大学医学部附属病院 薬剤部）

オーガナイザー：

竹本 信也（日本製薬工業協会 医薬品評価委員会 PV 部会 TF1（中外製薬株式会社 医薬安全性本部 セイフティサイエンス第二部））

俵木 登美子（一般社団法人くすりの適正使用協議会）

S15-1 病院薬剤師が考える患者さんが必要な医薬品情報を届けるために

大庭 理寛（JA 神奈川県厚生連 伊勢原協同病院 薬局）

S15-2 患者への情報提供と活用 ー薬局薬剤師の立場からー

鈴木 すみれ（株式会社なの花東北 事業部）

S15-3 患者が必要とする医薬品情報とは

山口 育子（認定 NPO 法人ささえあい医療人権センター COML）

S15-4 患者さんが必要とする最新情報を届けるために ー製薬企業の視点よりー

竹本 信也（日本製薬工業協会 医薬品評価委員会 PV 部会 TF1（中外製薬株式会社 医薬安全性本部 セイフティサイエンス第二部））

S15-5 患者さんへの情報提供を考えるーくすりのしおりミルシルサイトの現状と課題ー

俵木 登美子（一般社団法人くすりの適正使用協議会）

シンポジウム⑯

7月6日(日) 13:45 ~ 15:45 第3会場

**医療 DX 推進のための人工知能、機械学習、バーチャルリアリティの活用**

座長：野口 義紘（岐阜薬科大学 病院薬学研究室）

牛尾 聡一郎（福岡大学薬学部）

オーガナイザー：

野口 義紘（岐阜薬科大学 病院薬学研究室）

S16-1 薬学分野研究におけるベイジアンネットワークの活用

伊野 陽子（岐阜薬科大学 健康医療薬学研究室）

S16-2 ソーシャルメディアやネット情報を用いた薬物乱用防止サーベイランスの可能性

牛尾 聡一郎（福岡大学薬学部）

S16-3 臨床・薬学教育におけるバーチャルリアリティの活用

仁木 一順（大阪大学大学院薬学研究科）

S16-4 対話型 AI システムを用いた医薬品情報の収集方法の検討

江崎 剛史（滋賀大学データサイエンス学部）

ワークショップ

7月6日(日) 9:15 ~ 11:15 第4会場

**「医療現場における新医薬品の評価の手引き」を活用して、新医薬品を評価してみよう**

ファシリテーター・解説：

大野 能之（東京大学医学部附属病院薬剤部）、富田 隆志（広島大学病院薬剤部）、

近藤 悠希（熊本大学 大学院生命科学研究部 薬物治療設計学分野）、

小原 拓（東北大学病院薬剤部、東北大学東北メディカル・メガバンク機構）、

鈴木 貴明（山梨大学医学部附属病院）

オーガナイザー：大野 能之（東京大学医学部附属病院薬剤部）、富田 隆志（広島大学病院薬剤部）

共催セミナー①

7月5日(土) 12:00～13:00 第2会場

### バイオンミラー普及に向けた医療機関での更なる対応と課題

座長：安野 伸浩（帝京大学医学部附属病院）

演者：舟越 亮寛（亀田総合病院薬剤部）

【共催】 サンド株式会社

共催セミナー②

7月5日(土) 12:00～13:00 第3会場

### 周術期医薬品情報の“正しい”取り扱いと“求められる”患者への伝達

座長：柴田 ゆうか（日本大学薬学部）

演者：内田 まやこ（九州大学病院薬剤部）

【共催】 丸石製薬株式会社

共催セミナー③

7月5日(土) 12:00～13:00 第4会場

### 患者スクリーニングに関連した薬剤師業務の効率化～ DWH および FiSMo の活用について～

座長：森 和明（株式会社ユヤマ）

演者：榎田 崇志（岡山大学病院）

【共催】 株式会社ユヤマ

共催セミナー④

7月6日(日) 12:30～13:30 第2会場

### 患者に届けたい“求められる、正しい医薬品情報” ～連携の中で育む病院薬剤師のこれから～

座長：望月眞弓（慶應義塾大学）

演者：内田まやこ（九州大学病院 薬剤部）

【共催】 高田製薬株式会社

共催セミナー⑤

7月6日(日) 12:30～13:30 第3会場

### 系統的レビューの実践と教育

座長：磯辺 隆（エルゼビア・ジャパン株式会社）

演者：板谷 崇央（京都大学大学院 医学研究科 医療疫学分野）

【共催】 エルゼビア・ジャパン株式会社

共催セミナー⑥

7月6日(日) 12:30～13:30 第4会場

### 演題1：薬物血中濃度分析機器の選択と結果の評価

座長：上田 篤（株式会社島津製作所 営業本部）

演者：埜越 崇範（広島大学病院 薬剤部）

### 演題2：質量分析装置の薬物分析への応用

座長：上田 篤（株式会社島津製作所 営業本部）

演者：室屋 岳人（株式会社島津製作所 営業本部）

【共催】 株式会社島津製作所

## ■一般演題 口演

### 一般口演① 医薬品の適正使用

7月5日(土) 13:15 ~ 14:15 第4会場

座長：高橋 一栄 (大阪府済生会野江病院 薬剤科)

- O-01 DI 管理室による副作用情報の収集、管理、報告、救済制度申請支援への積極的関与  
下田 賢一郎 (社会医療法人寿量会 熊本機能病院 薬剤部)
- O-02 病院フォーミュラリ導入による第1 推奨薬処方割合の薬効群別評価  
吉友 葵 (横浜市立大学附属病院 薬剤部)
- O-03 胃がん患者において併用薬がニボルマブの有効性に与える影響：単施設後方視的観察研究  
山口 未来望 (慶應義塾大学薬学部 臨床薬学講座)
- O-04 不良薬品報告状況の電子化と Power BI を利用した可視化の取り組み  
小林 宏太郎 (倉敷中央病院 薬剤本部)
- O-05 カフェイン副作用説明の有無によるノセボ効果発現の主観的評価と遺伝的要因の影響  
奥田 りりか (慶應義塾大学 薬学部)

### 一般口演② データベース研究、市販後調査

7月5日(土) 14:25 ~ 15:25 第4会場

座長：今井 志乃ぶ (昭和医科大学)

- O-06 自然言語処理技術を用いたバンコマイシン塩酸塩による有害事象の症例検出  
大野 由紀子 (慶應義塾大学 薬学部)
- O-07 統合失調症女性の乳がん発症リスクとホルモン補充療法の関連  
畑 武生 (大阪医科薬科大学病院 薬剤部)
- O-08 大規模保険請求情報を用いたリツキシマブ先発品とバイオ後続品の重症注入反応の比  
岡田 和紗 (京都薬科大学 臨床薬剤疫学分野)
- O-09 本邦の製造販売後調査等の現状及び課題 - GPSP アンケート調査  
内納 和浩 (日本製薬工業協会 医薬品評価委員会 ファーマコビジランス部会 継続課題対応チーム3 (第一三共株式会社))
- O-10 電子カルテデータを使用した医薬品の安全性シグナル検出  
渚 純子 (兵庫県立大学 情報科学研究科)

### 一般口演③ 情報システム

7月5日(土) 15:35 ~ 16:35 第4会場

座長：三浦 誠 (洛和会音羽病院 薬剤部)

- O-11 生成AI による医薬品情報検索の精度評価  
田杭 直哉 (日本医科大学多摩永山病院 薬剤部)
- O-12 LLM を活用した新規服薬指導支援システムの検討  
浅利 知 (厚木市立病院)
- O-13 Microsoft Copilot を用いた一般論文レビュー時の論文結果抽出における方法論的検証  
金井 紀仁 (新座病院 薬剤科)

- 14 医薬品情報業務における Robotic Process Automation の活用による業務改善効果の評価  
阪居 伸哉（京都大学 医学部 附属病院 薬剤部）
- 15 薬物間相互作用アラートがある処方の実態調査  
鈴木 健（愛知医科大学病院 薬剤部）

一般口演④ 課題研究、その他

7月5日(土) 16:45～17:45 第4会場

座長：小原 拓（東北大学病院薬剤部）

- 16 ユーザーがプログラミングを意識しない安全性シグナルのスコア算出手法の構築  
野口 義紘（岐阜薬科大学 病院薬学研究室）
- 17 Ceftriaxone により脳症を発症した血液透析患者の血清・髄液中濃度測定と薬物動態解析  
勝田 弘輝（広島大学 薬学部）
- 18 薬学生に対する医薬品情報の薬学的管理への活用に関する実務実習前演習の取り組み  
西田 麻以（就実大学 薬学部）
- 19 地理情報システムを用いた公共交通機関から医療資源に対するアクセシビリティの調査  
松井 健祐（岐阜薬科大学 医薬品情報学研究室）
- 20 病棟専任薬剤師と協働した効率的かつ持続可能な薬剤アレルギー情報管理方法の確立  
澤田 真嗣（京都第二赤十字病院 薬剤部）

■一般演題 ポスター

医薬品適正使用

- P-01 授乳期における医薬品の使用実態調査 —消費者パネルによるインターネット調査—  
佐山 杏子（慶應義塾大学大学院 薬学研究科）
- P-02 院外処方箋への検査値印字が処方に与える影響：レボフロキサシンを用いた後方視的検討  
伊東 充（東京慈恵会医科大学 葛飾医療センター）
- P-03 疑義照会簡素化プロトコルを契機とした用法適正化に向けた取り組み  
若杉 正（横浜市立大学附属病院 薬剤部）
- P-04 医師と共同し、高齢者の抗てんかん薬漸減による副作用軽減と ADL 向上へのアプローチ  
南郷 大輔（ふくろうクリニック等々力）
- P-05 ニルマトレルビル / リトナビル の処方実態調査から処方鑑査の課題を考える  
川村 和宏（八戸市立市民病院）
- P-06 すずらん薬局グループの薬歴データを用いた Triple Whammy 発生率調査と防止対策の評価  
香川 雅登（すずらん薬局紙屋町店）
- P-07 レボチロキシンの処方支援に関わった甲状腺機能低下症の 3 例  
田中 大二郎（大分三愛メディカルセンター 薬剤部）
- P-08 新型コロナウイルス感染症治療薬エンシトレルビルにおける併用薬と副作用の実態調査  
遠藤 正宗（ウェルネス薬局乃白店）
- P-09 高カリウム血症治療薬の物理化学的性質と消化器系副作用発現に関する検討  
片桐 文彦（東京薬科大学 薬学部 臨床薬効解析学教室）
- P-10 マスメディアの「医薬品」に関する報道が患者に及ぼす影響  
佐々木 愛（株式会社ツルハホールディングス）
- P-11 当院における薬と妊娠に関しての情報提供体制  
大野 友美（水戸赤十字病院 薬剤部）
- P-12 薬効分類番号 3999 に分類される医薬品の薬効特性と T 薬効の有用性  
高山 みどり（有限会社ティ辞書企画）
- P-13 岡山大学病院における医薬品供給停止・販売中止にともなう対応状況の実態調査  
竹松 龍人（岡山大学病院 薬剤部）
- P-14 服薬指導の標準化を目指して—多言語対応ツールの活用—  
仲村 哲也（地方独立行政法人 那覇市立病院）
- P-15 新型コロナウイルス感染症流行前後における市販直後調査の応需状況と変化 - 全国調査 -  
瀧川 正紀（東邦大学 薬学部 臨床薬剤学研究室）
- P-16 急性期脳疾患患者に対するお薬手帳による情報提供（アンケート調査）  
徳永 晃（地方独立行政法人佐賀県医療センター好生館 薬剤部）
- P-17 保険調剤薬局のグループ薬局内における情報提供方法の工夫による影響の調査  
鈴木 猛弘（ひまわり調剤 新川崎薬局）

- P-18 地域薬局における社内共有可能な質疑応答データベースの構築と試行の評価  
新垣 萌（株式会社メディカルシステムネットワーク 学術部）
- P-19 長期収載品の選定療養制度導入が対象医薬品の後発品比率に与える影響  
高橋 渉（クオール株式会社 教育研修本部 専門教育部）

**データベース研究**

- P-20 周産期薬物療法への薬局薬剤師の関与：保険者データベースを用いた記述的研究  
織田 萌々華（名城大学 薬学部 医薬品情報学研究室）
- P-21 NDB オープンデータを用いた抗てんかん発作薬の後発医薬品使用実態調査  
吉川 博（広島大学病院 薬剤部）
- P-22 診療データに基づくボルテゾミブ製剤の後発医薬品発売に伴う処方実態の変化  
市江 敏和（愛知県厚生農業協同組合連合会海南病院 薬剤部）
- P-23 iyakuSearch における使用上の注意の改訂指示通知発出前後の文献情報の動向  
酒井 彩美（一般財団法人日本医薬情報センター）
- P-24 進行性肝細胞がん患者に対するがん化学療法レジメン選択の背景に関する比較検討  
久保 維吹（東京薬科大学 薬学部 医療衛生薬学科 医薬品安全管理学教室）
- P-25 腎尿路結石における炭酸脱水酵素阻害薬とビタミン D 製剤の薬物間相互作用シグナル  
木下 照常（刈谷豊田総合病院 薬剤部）
- P-26 医薬品副作用報告データベース (JADER) に含まれるワクチン関連有害事象データの質評価  
川島 健太郎（一般財団法人 日本医薬情報センター）
- P-27 米国有害事象自発報告データベース (FAERS) を用いた報告数増加の要因探索  
西山 彩姫（一般財団法人 日本医薬情報センター）

**副作用症例報告**

- P-28 当院におけるスタチン関連有害事象の発生状況  
板倉 真言（社会医療法人財団新和会八千代病院 薬剤部）
- P-29 JAK 阻害薬で治療された皮膚疾患患者の感染症発現状況とリスク因子の調査  
岡崎 龍一（医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 薬剤部）
- P-30 便秘が関与したと思われた臭化ジスチグミンによるコリン作動性クリーゼの1例  
山田 奈奈子（市立伊丹病院 薬剤科）

**医薬品情報源の評価・利活用**

- P-31 コンビネーション製品のデバイス部分におけるインタビューフォームへの記載状況  
永野 靖典（三楽病院 薬剤科）
- P-32 インタビューフォームを中心とした在宅自己注射薬の安定性情報に関する調査  
馬淵 匠（東邦大学医療センター大森病院 薬剤部）
- P-33 ジェネリック医薬品の電子添文から考える医薬品情報 新記載要領対応で生じた情報相違  
今田 隆太郎（日本ジェネリック製薬協会(JGA)電子添文検討部会）

- P-34 要指導・一般用医薬品添付文書の「服用禁止」を表すイラストの理解度と人気度の調査  
山下 純（福山大学 薬学部）
- P-35 医薬品リスク管理計画の患者向け資料の情報提供状況と医薬情報担当者における認識調査  
八木 仁史（独立行政法人労働者健康安全機構 関東労災病院 薬剤部）
- P-36 特定薬剤管理指導加算 3 の新設後における保険薬局での RMP の活用状況に関する調査  
於本 崇志（岩手医科大学附属病院 薬剤部）
- P-37 RMP のリスク最小化活動における医療従事者向け資料の作成状況に関する実態調査  
大滝 康一（北海道科学大学 薬学部）
- P-38 日本と欧州連合のリスクマネジメントプランにおける安全性検討事項の比較  
本多 輝行（北里大学大学院 薬学研究科 医薬開発学）

#### 医薬品情報システム

- P-39 医薬品情報関連研究における生成 AI の活用：データ照合効率化の検討  
伊藤 由彦（静岡県立大学大学院 薬学研究院 薬食研究推進センター）
- P-40 「顧客の声」分析を用いたくすり相談窓口への問合せ状況変化についての検討  
川原 有紀子（鳥居薬品株式会社 メディカルインフォメーション部）
- P-41 電話窓口での音声認識システムの認識率とシステム使用者の意識に関する報告（第 2 報）  
五十嵐 遼（株式会社大塚製薬工場 信頼性保証本部 輸液 DI センター）
- P-42 看護師に対する添文ナビの活用促進と資料活用に関する調査  
大塚 早貴（社会医療法人財団仁医会 牧田総合病院 薬剤部）
- P-43 薬剤師へのアンケート調査と WEB サイト利用動向からの考察  
井上 加奈子（大鵬薬品工業株式会社 信頼性保証業務部 医薬品情報課）

#### 医療情報システム

- P-44 PISCS を用いた CYP 相互作用の網羅的な注意喚起システム構築による薬剤師業務への寄与  
山川 拓（独立行政法人地域医療機能推進機構札幌北辰病院 薬剤部）
- P-45 電子カルテにおける貼付薬処方時の用法選択システムの改善  
安田 昌宏（岐阜市民病院 薬剤部）
- P-46 電子処方箋メリット認知度向上に関する薬剤師への介入研究  
白山 祐輝（株式会社ツルハ）
- P-47 電子処方箋管理サービス接続における留意点及び運用上の課題と対応  
新田 茜（東京逋信病院 薬剤部）
- P-48 入院処方薬のスケジュール管理機能導入による廃棄薬剤の実態調査  
檜山 洋子（広島大学大学院 医系科学研究科 微生物医薬品開発学）

#### 医薬品情報学教育

- P-49 中規模病院における実習生の情報源の利活用に関する実務実習の評価  
武田 千春（医療法人社団武蔵野会 TMG あさか医療センター 薬剤部）

- P-50 実務実習における医薬品情報の実習内容の実態調査  
鈴木 大吾（春日井市民病院薬剤局薬剤科）
- P-51 医薬品情報学研究の現状と課題  
久田 優花（名城大学 薬学部 医薬品情報学研究室）

医療安全、その他

- P-52 加古川中央市民病院における 2023 年度のプレアボイド報告事例の収集と内容分析  
大澤 史宜（地方独立行政法人加古川市民病院機構 加古川中央市民病院 薬剤部）
- P-53 薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業へのプレアボイド報告の集計・解析  
藤井 瑞結（ぼうしや薬局 学術 DI 室）
- P-54 薬毒物情報の領域横断的集積化へ向けた試み  
植草 協子（日本医科大学 法医学）
- P-55 予防接種健康被害救済制度における救済状況  
田村 剛哉（昭和薬科大学 臨床薬学教育研究センター 医薬品情報部門）
- P-56 形態観察を用いたアトピー性皮膚炎患者の角層状態の評価法  
小寺 真央（鳥居薬品株式会社）
- P-57 ダニ SLIT 錠服用患者における年齢層別バイオマーカー推移  
松原 弘季（鳥居薬品株式会社）
- P-58 機能性表示食品の有効性・安全性の現状～おなかの調子を良好に保つ乳酸菌について～  
波多江 崇（広島文化学園大学 看護学部 看護学科）
- P-59 服薬支援機器「服薬時計®」を使用した服薬状況調査 - 高血圧患者版 -  
内藤 詩乃（昭和薬科大学）
- P-60 「飲む」ことに抵抗のない経口薬のサイズとは？  
大栗 優一（ヤンセンファーマ(株) メディカルアフェアーズ メディカルインフォメーションセンター）